

編集 目白大学メディア学部
TEL 03-5996-1310

目白大学新聞

第四七号
二〇一九年(令和元年)八月三日
一九九四年五月一八日創刊



新宿キャンパスに大きく張り出された100周年ロゴ(英語バージョン)と竹山賢先生

目白学園100周年プロジェクト

2023年、目白学園は100周年を迎える。これを記念し、さまざまなプロジェクトが始動している。その一環として100周年記念ロゴマークのデザインを担当したのは、社会学部社会情報学科の竹山賢専任講師だ。



竹山賢先生がデザインした100周年ロゴ

竹山先生が赴任して2年目、目白学園100周年のロゴのデザインを依頼された。竹山先生は、そのときの気持ちを伺って「目白大学でまた2年目の自分に声をかけていただけたことはとても光栄に思った。最初は、100周年という歴史の重みに正直、少しプレッシャーを感じたという。学内には同じくデザインを専門にしている先輩の先生方がいるのに、自分ではないのかという思いがあった。それでも「新参者」に100周年のロゴを任せられるのはチャンスだと考えた。

祝創刊25周年! 目白大学新聞初代編集長に聞く

本年、令和元年で目白大学新聞は創刊25周年を迎える。その初代編集長であった田川五郎元教授(85)に創刊にまつわる事情などを伺った。

学生に配布するための新聞が欲しい
ある日、学内の会議を終えた田川先生が目白へ帰るとして、いたるところで呼び止められた。学長(当時)の指示で「新入生に配布するための新聞を作らなければならない」という。この瞬間から田川先生は目白大学新聞制作が始まった。

現在の紙面について
記者時代に「整理部」という記事の修正や紙面のデザインを専門とする部署に5年間配属されていた田川先生に、現在の新聞を読んでいただいた。経験豊富な田川先生ならではの数々の感想や提案を聞くことができた。まず今の新聞はカラーで見や

田川先生は編集長を務めながら、学内で「田川塾」を主宰し、20名の塾生の国語力向上を目的に指導を行った。手紙の書き方から始め、次に日記の文章を書くことを大事に教えていった。その結果、当時の学内国語テストでは、塾生が1位を獲得できるまでに成長した。また、塾生田



1994年に創刊された「目白大学新聞」第1号



田川五郎 たがわ ごろう
元目白大学人文学部言語文化学教授。読売新聞社に39年勤務、整理部などの部署を経験。インタビューアとしての経験も豊富で大手自動車メーカー HONDA の創業者、本田宗一郎氏と対談したこともある。目白大学の岩槻キャンパスで教鞭をとるかわら、「目白大学新聞」初代編集長も勤めた。

新参者の強みがある
ロゴデザインという大任を託された竹山先生は、自身の経験から「目白」の文字を尊重し、それを生かして「百年」という文字を新たにデザインして統一感を出した。また100周年記念特設サイトのトップページでは、ロゴマークが水の波紋のように感じられる動きを加えた。竹山先生は元のデザインのストーリーを尊重しつつ、自身の個性を大切にロゴを制作した。

新しく心理学部心理カウンセリング学科が誕生
2020年4月開設
心理学部心理カウンセリング学科が、心理学部心理カウンセリング学科へと生まれ変わる。これまでのスクールカウンセラー養成を中心とした教育体制から、より広い分野での心の諸問題に対処できる人材育成を目指し、カリキュラムを大幅に拡充した。専門職から一般企業といった幅広いフィールドで心理学を生かせるよう、学生の将来像に対応した履修モデルを用意。また、多彩な実習・演習科目群によって、実践力とともに、主体的に行動する力を養って行く。



詳しくは「目白大学心理学部」で検索

目白大学受験生応援サイト
心理学部心理カウンセリング学科
https://www.mejiro.ac.jp/univ/jyukensei/course/psychology/psy/

強豪OUAKES再始動!

石原匡先生インタビュー

目白大学・目白大学短期大学部のチアリーディング部OUAKESは、かつては強豪大学チームとして名を馳せたが、2年程前に部員が少なくなり休部となっていた。そのチアリーディング部OUAKESが、2020年から再始動する。顧問を務めるのは、これまで多くの生徒たちを指導して輝かしい成績を残してきた石原匡先生である。これから新たな時代を切り拓いていく、石原匡先生に思いを語ってもらった。

2020年に再始動する

なぜ目白大学のチアリーディング部を再スタートするのですか?

OUAKESは、チアリーディングでは有名な強豪大学チームでした。10号館と第2体育館入り口のトロフィーケースにはたくさんの優勝トロフィーや賞状が飾られており、かつての栄光を語っています。しかし、2年程前に部員数が少なくなってしまう、現在は休部中とでもさみしいです。大学としてかつての活動を復活させたいという強い意志のもと、今回再始

これまでの経験をふまえて

先生は実際にチアリーディングを経験されているのでしょうか?

私の専門種目は体操競技だったのですが、チアリーディング部の卒業生に誘われ、社会人のメンバーで何度か大会に出場しました。当時は女子中心というイメージだったので、世界的には男子が入るのが主流です。男女で組んで、パワーのある男子が女子を持ち上げるという形が世界的な流れです。日本でも、そのようなミックスチームがだんだん強化されています。

チアリーディングを指導するうえで、特に気を付けていることを教えてください。

チアリーディングは、華やかなイメージがありますが、危険と隣り合わせです。慎重に行っていることも、腰の痛みや、場合によっては落下して大きな事故となることもあります。したがって、トレーニングの段階においては安全性の確保がもっとも大切です。また、身体的な負担が大きいので、ベース作りをしっかりと行わなければなりません。安全を第一に考え、段階的にステップを進んでいくように指導をしています。



2017年の桐和祭でパフォーマンスを披露したQUAKES

目白大学にチアあり

現在の意気込みを教えてください。

本学の教育上の使命に「育てて送り出す」とあるように、競技力向上だけに走るのではなく、チアリーディングを素材にして、豊かな魅力のある人間力、社会貢献をしていただけるような人材を育成していきたいと思っています。

将来的な夢を

さいたま岩槻キャンパスでは、第26回桐和祭が10月26日(土)と27日(日)に開催され、開催時間は同日とも10時〜18時。メインテーマは「Switch(スイッチ)」。この思いを合わせて「Switch(スイッチ)」というテーマを選定しました。

来年の桐和祭で子ども学科の出展の様子は

子ども学科の出展の様子は、ぜひご足をお運びください。是非ご足をお運びください。

第51回桐和祭



昨年の桐和祭でライブを行う学生バンド

和元年、今年も目白大学・目白大学短期大学部新着キャンパスで、恒例の桐和祭が開催される。10月19日(土)・20日(日)・西日も10時〜18時。メインテーマは「Switch(スイッチ)」。桐和祭実行委員会ではテーマ案を提出し、投票により決定された。実行委員会による「Switch(スイッチ)」は新しい時代、新しい気持ちに「切り替えていく」というSwitch(スイッチ)の意味があります。平成から令和への転換期にあたり「Switch」です。また、「Switch(魔

加速する目白大学SDGsへの取り組み

5月26日(日)、新宿キャンパス10号館エントランスとされた「SDGsのラッピング」が出現しました。しかもこのラッピングにはQRコードが印刷されていて、これを読み込むと、本学のSDGs特設サイトを閲覧することができます。



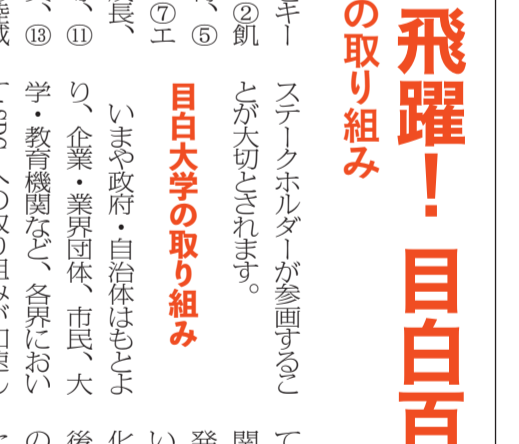
新宿キャンパス10号館エントランスのSDGsのラッピング

「環境」と「社会」と「経済」の三側面が、バランスよく統合的に達成される形相互連関的・分野横断的に並んでいます。「誰一人取り残さない(Sustainable Development Goals)」と「2016年から2030年までに持続可能な社会の実現に向けて全世界が達成を目指す人類共通の目標(持続可能な開発目標)」です。

目白大学では2011年度より、「目白学園環境宣言」を採択し、学校法人目白学園、地球環境の保全及び低炭素社会への貢献・推進委員会を中心に、「持続可能な社会の実現に向けた全学的な取り組みを推進」してきました。主な取り組みとして、新宿キャンパスとさいたま岩槻キャンパスにおいて、その緑豊かな環境・森

夢は世界で活躍! 女性レーサーは目白大学卒業生

初めてレースを観戦したときからずっと夢を追いかけ続けていると語る卒業生の加藤沙也香さん。女性監督・井原慶子さん率いる女性レーサー集団「LOVE DRIVE RACING」に所属し、2017年・2018年の富士チャンピオンレースで3位を獲得した。



レーシングスーツで取材に応じてくれた加藤さん

藤さんは、将来、国際的に活動する際に必要な英語のスキルを学ぶために目白大学で英米語を専攻し、今年3月に卒業した。取材後(5月下旬)の「スーパー耐久シリーズ」2019 富士SUPER TEC 24時間レースでは加藤さんのチームは予選を勝ち抜き、6位に入賞した。今後さらに活躍が期待される加藤さんにお話を伺った。

「最後に学生にメッセージをお願いします。」
大学に通っている人の中には、私と同じように夢を持って追いかけている人もいれば、な

SDGsで未来へ飛躍! 目白百年

「環境」と「社会」と「経済」の三側面が、バランスよく統合的に達成される形相互連関的・分野横断的に並んでいます。「誰一人取り残さない(Sustainable Development Goals)」と「2016年から2030年までに持続可能な社会の実現に向けて全世界が達成を目指す人類共通の目標(持続可能な開発目標)」です。



加藤さんがレースで運転しているLOVE DRIVE ロードスター

「今後の目標はどんなことですか?」
一つは、私が初めて観戦したレースであるSUPER GTというカテゴリーに出場することです。そして、世界で活躍するドライバーに成長して、井原監督を超えたいです。

「東洋経済ACADEMIC」で話題に
「東洋経済ACADEMIC」で話題に

若者が夢中になるYouTuber

目白大生の挑戦

小学生が憧れる職業としてもテレビなどで取り上げられ、注目を集めているYouTuberだが、一体どのような活動をしているのだろうか。YouTuberとして10年以上動画投稿を行っている、社会学部メディア表現学科3年の佐藤楓斗(さとうかいと)さんにその真相を聞いた。

— YouTubeに動画を投稿しはじめたきっかけはどんなことですか？
友だちと遊びで動画を上げていた名残です。中一、中二のころだったのですが、日々の生活で面白く感じること、小さなイラストの数々、当時の友だちとの冒険の記録などが残っていました。

— やりがいを感じるのはどんなときですか？ 長年続けられる理由はなんですか？
チャンネル登録者が増えること、とてもやりがいを感じます。それから、有名な方にフォローしてもらえたときはモチベーションが上がります。「登録者が増えて欲しい」という承認欲求も力になっています。

— 企画を思いつくのはどんなときですか？
何もしてないときに降ってくるものもありますし、ドッキリをしようとするときに企画を思いついたりします。テーマを決めずに、思いついたことをやってみようという感じです。基本的には「キリが好きなので、人を使うことが多いです。主に地元の人たちや弟が協力してくれます。弟はいちばん人気です。」

— ソンソーツ (Zozoto) について教えてください。
単純に、着きたら面白くないと思ったからです。変なことをやりすぎて慣れてしまっただけです。そのあと、ソンソーツのままで渋谷の街にも行きました。地元の友だちや、高校から一



インタビューを受ける佐藤さん

— 今後の目標、挑戦したいことは何ですか？
Ustreamネットワークという事務所所属しているのですが、そこでしっかりと車に上がりたいです。次は「3分秒に1つ売れる」と言われている商品は本言に買われているの検証という企画を考えています。「タバコをやるやまホール」に代

— 動画を撮っているのはお友だちですか？
元友だちが「カメラを持つから……」と言っているので、今度はいくつかのおもちゃの車で撮影しようかな……。ほかには、遊戯王のコスプレも考えています。

— 今後の目標、挑戦したいことは何ですか？
Ustreamネットワークという事務所所属しているのですが、そこでしっかりと車に上がりたいです。次は「3分秒に1つ売れる」と言われている商品は本言に買われているの検証という企画を考えています。「タバコをやるやまホール」に代

天草のオリーブを全国へ

柳田ゼミの産学連携プロジェクト

社会学部社会学情報学科・柳田志学専任講師のゼミでは2019年度、熊本県の天草オリーブ園「AVILO」との産学連携プロジェクトを進めている。天草のオリーブを日本全国に広めようという目標のもとで活動し、6月下旬には実際に現地を訪問してオリーブについての知見を深めた。

天草オリーブ園とは

天草オリーブ園AVILOは、株式会社九電工によるCSR(企業の社会的責任)活動の一環として平成22年4月に熊本県天草市五和町に開園した。平成26年7月には、開園初のオリーブ体験施設も開設している。現在は、敷地面積約1.8ヘクタール、オリーブ11品種の農園となっている。オリーブの恵みを余すことなく凝縮するために、収穫は手摘み、搾油は24時間以内としている。また、オリーブの本場であるイタリアからコンサルタントを招いて本場の技術指導のもと、天草独自のオリーブオイル作りを目指して活動している。天草オリーブは

現地での活動

日本最大級のオリーブをテーマとしたイベント「TOLME JAPAN 2019」において金賞を受賞するなど、幅広い世代から注目を浴びている。天草オリーブ園AVILO主催のオリーブツアーに参加した。ツアーでは、まずオリーブ畑を見学しながら店長の田口さんにオリーブについてのお話を伺った。事前にオリーブについて調査はしていたが、話していた内容にはじめて知るところも多く、オリーブの奥深さを実感する見学となった。

オリーブ畑見学後は、オリーブに関してさらにDVDで解説していただき、続いてオリーブオイルのテイステイングを体験した。テイステイングの方法を学びながら、天草オリーブ園で取り扱っているオイル3種と市販のオイル1種の計4種のオリーブオイルのテイステイングを試みた。同じオリーブオイルといっても、香りや味、舌触りなどに違いがあり、自分好みのオリーブオイルを選択するというテイステイングの楽しさを体験することができた。



天草オリーブ園で記念撮影をする柳田ゼミの学生たち

今後の計画について

本年冬季には、柳田ゼミナールから九電工の上層部の方々に向けて、調査結果をもとに考案したマーケティング政策を提案するプレゼンテーションを行うことを予定している。そのために、8月に目白大学新館キャンパス内で行われるオープンキャンパスにて、オリーブオイルを購入する際の消費者意識の傾向を分析することを目的としたアンケート調査を来場者(学生と保護者)に実施する。また10月には、本格的なオリーブの収穫シーズンを迎える天草オリーブ園AVILOを再度訪問し、実際にオリーブの収穫を体験することを計画している。

シャッターを切る

目白研心写真部 学生優秀賞受賞

新宿区中井周辺で行われる「染の小道」を題材とした「第5回『染の小道』フォトコンテスト」(目白大学目白短期大学部主催)で目白研心高等学校の写真部員で2年生の早坂瑠花さんが学生部門の優秀賞を受賞した。早坂さん、同じ2年生部員の岡山彩乃さん、顧問の佐藤千明先生に写真の楽しさや写真部の今後について聞いてみた。

早坂さん

— 撮影した写真を部員それぞれで応募したのだが、その中で早坂さんの作品「舞う。」が優秀賞を受賞した。この作品についていくつか質問をした。
「染の小道」が開催された日は風が強い日だったが、その中でどんなイメージを持って撮影をしたのか聞くと、早坂さんはその日の気候に合わせて風を感じたという。たぐさんシャッターを切ったその中で画面全体にバランス良く反物が広がった一枚が今回優秀賞を受賞した作品「舞う。」である。多くの撮影結果の中から最良の一枚を選

写真部の活動とは

写真部は校外での撮影会のほか、運動会や文化祭といった学校行事を撮影するという活動もおこなっている。特別な許可を得て一般生徒が入れない場所から、イベントの光景を写真に収めている。

「染の小道」を撮る

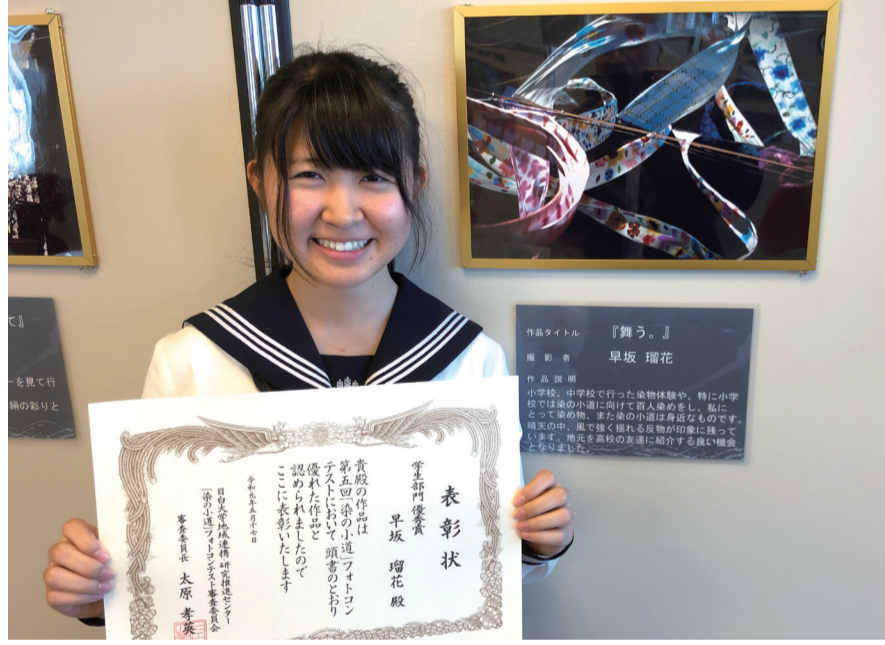
写真部全体で取り組んだフォトコンテストがある。新宿区中井で行われる「染の小道」を題材にしたコンテストだ。今回は岡山彩乃さんの作品「舞う。」が優秀賞を受賞した。残念ながら受賞できなかったが、彼女が撮ったようなイメージでシャッターを切ったのが尋ねてみた。対象物以外のものが写るのが嫌だったので反物と川だけが写るように意識して、風に反物が舞い上がっている瞬間にシャッターを切ったそうだ。

「上手になっていく姿を見ることが楽しい」

佐藤先生は「染の小道」は地元のイベントで愛着があるため、普段からお世話になっている中井の街が賑わう様子を写真に収めておきたいと思い写真部で撮影することに決めた。佐藤先生はまた、こうも言う。



「みんなが楽しんで撮影している姿を見ていると、もっと活動できる場所を増やしてあげたいと思う。岡山さんのように高校に入学してからカメラを始めた生徒が撮った写真を見ても、楽しんで写真を撮っていることがわかる。それぞれ昨年よりも上達してコツを掴んでいく姿を見るのがとても楽しい。」



上:表彰状を手にして喜ぶ早坂瑠花さん
下:写真部の活動について語る早坂さんと岡山さん(右)

この取材から目白研心高校写真部が日々成長していることが実感できた。撮りたいものを、感じたままに撮った作品はどれも彼女たちには撮れない唯一の写真であろう。彼女たちの今後の作品にも注目してみたい。(編集部3年 三井沙弥香)

「晴天の中、風で強く揺れる反物が印象に残っています」と自らの写真を語る早坂さん

人と時代をつなげる

護岸アートギャラリー「江戸の紋様」

中井の街の中心を流れる妙正寺川。川の側面の壁、護岸壁に綺麗な紋様が染められはじめています。ふだん何気なく通っているが、気付いている人は少ないだろう。これは、毎年2月に「染の小道」というイベントを行っている染の小道実行委員会の新企画「護岸アートギャラリー」だ。染の小道実行委員会*の(川)のギャラリー代表、東健太郎さん、太田理絵さん、護岸アートギャラリー代表の小林元文さんになぜ護岸アートなのか尋ねた。

護岸アートギャラリーとは

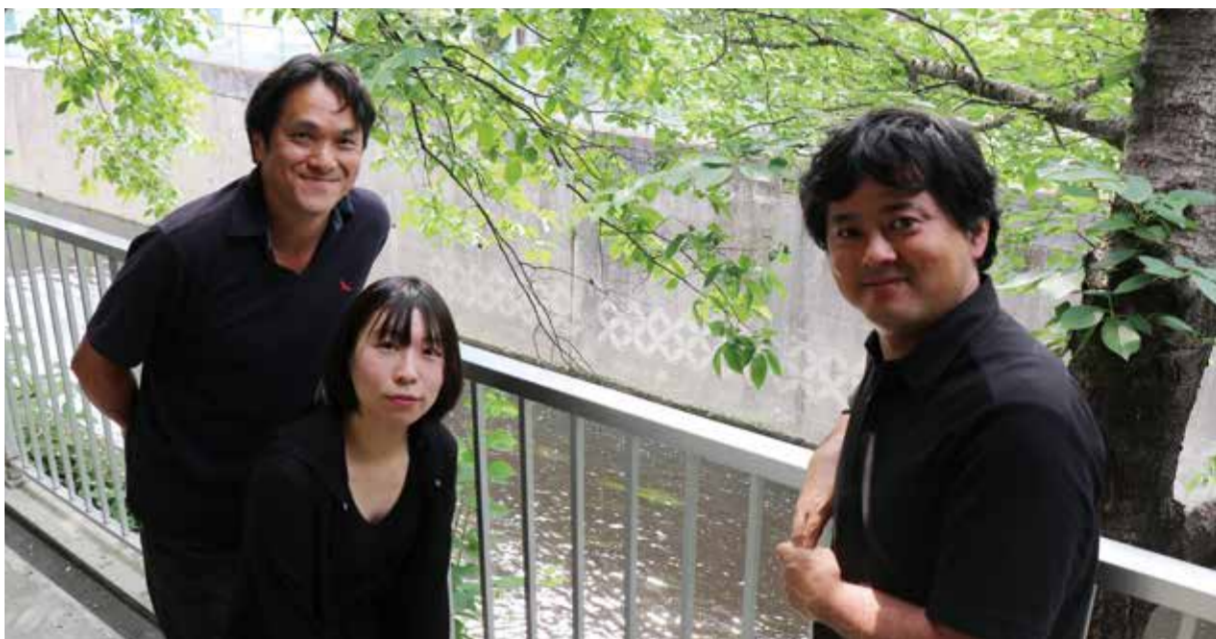
この護岸アートギャラリーは、中井周辺の妙正寺川の護岸壁に、それぞれ由来をもつ江戸の紋様を1年に1柄ずつ染めていく企画だ。2019年の紋様は、七宝(しっぽう)。円が連なると七宝(しっぽう)。円が連なると七宝(しっぽう)。円が連なると七宝(しっぽう)。

護岸アートギャラリーのはじまり

新編周辺には染屋がなくなると、染めの手や色、着物などの魅力が伝わりにくい。そこで「染物に親しんでもらいたく、知ってもらいたく」という思いから、「染の小道」というイベントを始めました。

「染の小道」のイベントは1年のうちの3日間だけで、年間を通して染に触れる機会とはならない。そこから、長い期間をかけて表現し、それを残していくことを考えて、護岸アートギャラリーを始めました。

「染の小道」のイベントは1年のうちの3日間だけで、年間を通して染に触れる機会とはならない。そこから、長い期間をかけて表現し、それを残していくことを考えて、護岸アートギャラリーを始めました。



護岸壁に染められた七宝柄を背に映る(右から)東さん、太田さん、小林さん



七宝柄を染める際に使ったポリカーボネート板

「柄を通じて時代や時間のつながりを感じてほしい」と護岸アートギャラリーは、あえて1年に1柄にしている。今年七宝。次の年は……、また次の年は……と、その柄をテーマにしていろいろなものが生まれていくのを理想としていることである。「染の小道」をきっかけに、小学生たちが日本の伝統的な柄について勉強したり、いろいろな年代の人に親しんでもらったり勉強してもらったりしてほしいと願っている。

「柄を通じて時代や時間のつながりを感じてほしい」と護岸アートギャラリーは、あえて1年に1柄にしている。今年七宝。次の年は……、また次の年は……と、その柄をテーマにしていろいろなものが生まれていくのを理想としていることである。「染の小道」をきっかけに、小学生たちが日本の伝統的な柄について勉強したり、いろいろな年代の人に親しんでもらったり勉強してもらったりしてほしいと願っている。

「柄を通じて時代や時間のつながりを感じてほしい」と護岸アートギャラリーは、あえて1年に1柄にしている。今年七宝。次の年は……、また次の年は……と、その柄をテーマにしていろいろなものが生まれていくのを理想としていることである。「染の小道」をきっかけに、小学生たちが日本の伝統的な柄について勉強したり、いろいろな年代の人に親しんでもらったり勉強してもらったりしてほしいと願っている。



ヘルメットに印刷された七宝柄を指差しながら説明する小林さん

「護岸アートは薄くはなるかもしれないが、10年は持つはず、消えないと思う。護岸アートは薄くはなるかもしれないが、10年は持つはず、消えないと思う。護岸アートは薄くはなるかもしれないが、10年は持つはず、消えないと思う。

「護岸アートは薄くはなるかもしれないが、10年は持つはず、消えないと思う。護岸アートは薄くはなるかもしれないが、10年は持つはず、消えないと思う。護岸アートは薄くはなるかもしれないが、10年は持つはず、消えないと思う。

※染の小道実行委員会とは
2009年から染物の街、中井の魅力をもっとたくさんの人に知ってもらおうと、年に一度、3日間のみ、「染の小道」というイベントを行なっている団体。現在は40~50人のさまざまな職業の有志で活動している。

ロボット・ペッパーと落語のコラボ

感情を持ったパーソナルロボットには愛着が湧きやすい

メディア学部メディア学科平山秀昭教授のゼミでは6月22日、高齢者福祉施設神楽坂の地域交流スペースで「ペッパー落語とドローンの操縦体験会」を主催した。ロボットのペッパーが落語をはなし、当日は小さい子からお年寄りまで、たくさんの人を楽しませた。

ペッパーと落語までの経緯

以前、ジャーナリストのアイドゥルグループを主宰するペッパーを用いてファンと交流したり、ダンスや演奏を行うというイベントがあったが、それをゼミでもできないかと、ゼミ生から提案があった。アイドルを呼ぶ同じようなイベントを開催することは難しいが、毎年学園祭で行なっているお笑いライブならコラボレーションが可能ではないかと考えた。ちょうどそのとき、学区内で今回の交流ス

ペースのイベントを募集して、お年寄りが多いことを踏まえて落語を決めた。当日は早稲田大学・落語研究会のメンバーと、ペッパーが交互に落語を披露した。平山先生は「ペッパーの共演には当初、プロの落語家に来ていただく構想もありました。しかし、限られた予算と日程の調整に頭を悩ませていたところ、早稲田大学の落研に協力してもらって実現しました。このお話を聞いたとき、お笑いライブのように感情表現をすることは、また難しいという。

ペッパーの動作と落語、そのスピード、音の高低、間の取り方など、これらすべてがプログラミングされた。今回の落語は、ゼミ生が1からプログラミングを行った。落語独特の抑揚やタメを調節しながら話を組み立てていった。しかし、表現できる幅には限りがあり、何でもできるわけではない。ペッパーが人間と、まったく同じように感情表現をすることは、また難しいという。

ペッパーの動作と落語、そのスピード、音の高低、間の取り方など、これらすべてがプログラミングされた。今回の落語は、ゼミ生が1からプログラミングを行った。落語独特の抑揚やタメを調節しながら話を組み立てていった。しかし、表現できる幅には限りがあり、何でもできるわけではない。ペッパーが人間と、まったく同じように感情表現をすることは、また難しいという。

中井に隠れカフェ発見!

クラシック音楽と共に楽しむ

西武新宿線中井駅、五の坂近くの線路沿いの民家の1階に今年オープンしたばかりのカフェがある。「Art Music Café Cesta」(アートミュージックカフェエスタ)のオーナー清水祐介さんを訪ねた。

過去を新しく

この店の建物は、もともと清水さんの叔母さま・叔父さまの自宅であった。叔母さまの清水信子さん(故人)は画家で、100年の歴史がある女流画家団体・朱葉会の理事長を務められた方だ。ここは自宅兼アトリエとして使われていたそうだが、叔母さまが亡くなった後、柱や家具など当時のものを残しつつ改装して作られたのがエスタである。

店内は4つ4つがけの天井が4つとファーター、風通しの良い空間となっている。また、友人から譲り受けたという英国タンノイ社製スピーカー「ウェストミンスター」からはクラシック音楽が流れ、心地の良いゆったりとした音響を店内に響かせている。

店内にはオーナーの思いが込められている

内装は、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。

エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。

エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。

エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。

エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。

エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。

エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。エスタは、叔母さまが住んでいた当時の柱やちゃぶ台などが残っている。



インタビューに答える平山先生

メディア学部にはプログラミングを行う授業がある。プログラミング作業自体は意外と難しくはないそう。ゼミ

ではペッパーのプログラミングワークショップを開催し、学生が子供たちにプログラミングを教えている。平山先生は、ITを使っている特別なことはないので、ITを学ぶように伝えていくことを大切にしたい。

最後はどんな店にしたいか伺ったところ清水さんは「ふらっと入ってもらうようなお店が目標です」といいます。大人から子供まで楽しめる空間、カフェエスタで音楽を楽しむながらゆったり時間を忘れて過ごしてみるのはどうだろうか。(編集部3年 山崎友利花)

飲んだ瞬間はまるやかの口当たり、その後さっぱりとした飲み心地がこころよい。コーヒーは注文が入ってから一杯ずつ淹れ、カップの柄はすべて異なる、お客さまに似合うカップを提供しているそう。お店で焼くケーキは季節に合わせて変わる。いただいたカトリーショコラは小麦粉を使わず、チョコレート濃厚な味わいとなっている。

この店は清水さん一人で切り盛りしている。仕込みなどのため木曜日から日曜日の4日間の営業となっている。営業日数が少ないぶん一つひとつにこだわりのあるスイーツや料理を売ることができ、予約に合わせ、時間外で営業することもあった。このあたりにも、お客さんへの思いが込められている。

池袋のイタリア料理店で働いていたという清水さんは、スイーツや料理にもこだわりをもち、できあいの加工品は提供していない。素材はエグストラバーションオイル、グレイプフルーツオイル、純正クリームなど、フォカッチャやスイーツはすべて店で焼いている。

「こだわりメニューにも池袋のイタリア料理店で働いていたという清水さんは、スイーツや料理にもこだわりをもち、できあいの加工品は提供していない。素材はエグストラバーションオイル、グレイプフルーツオイル、純正クリームなど、フォカッチャやスイーツはすべて店で焼いている。

「こだわりメニューにも池袋のイタリア料理店で働いていたという清水さんは、スイーツや料理にもこだわりをもち、できあいの加工品は提供していない。素材はエグストラバーションオイル、グレイプフルーツオイル、純正クリームなど、フォカッチャやスイーツはすべて店で焼いている。

「こだわりメニューにも池袋のイタリア料理店で働いていたという清水さんは、スイーツや料理にもこだわりをもち、できあいの加工品は提供していない。素材はエグストラバーションオイル、グレイプフルーツオイル、純正クリームなど、フォカッチャやスイーツはすべて店で焼いている。

「こだわりメニューにも池袋のイタリア料理店で働いていたという清水さんは、スイーツや料理にもこだわりをもち、できあいの加工品は提供していない。素材はエグストラバーションオイル、グレイプフルーツオイル、純正クリームなど、フォカッチャやスイーツはすべて店で焼いている。

「こだわりメニューにも池袋のイタリア料理店で働いていたという清水さんは、スイーツや料理にもこだわりをもち、できあいの加工品は提供していない。素材はエグストラバーションオイル、グレイプフルーツオイル、純正クリームなど、フォカッチャやスイーツはすべて店で焼いている。

「こだわりメニューにも池袋のイタリア料理店で働いていたという清水さんは、スイーツや料理にもこだわりをもち、できあいの加工品は提供していない。素材はエグストラバーションオイル、グレイプフルーツオイル、純正クリームなど、フォカッチャやスイーツはすべて店で焼いている。



抹茶ラテ(左)とカフェラテ(右)

Art Music Café Cesta.
住所: 〒161-0035 東京都新宿区中井1丁目7-5
TEL: 03-6875-0947
営業日: 木~土 12:00 ~ 19:00
日 12:00 ~ 18:00
定休日: 月~水

目白大学

編集長 島千乃
編集部 遠藤朋花、大木桃佳、坂本佑奈、佐野大輔、田島早希子、藤田有紀、三井沙弥香、山口英彦、山崎友利花